



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年10月12日

上場会社名 株式会社 東天紅 上場取引所 東
 コード番号 8181 URL http://www.totenko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小泉 和久
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 管理部長 (氏名)佐藤 昇 (TEL)03(3828)6272
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	3,172	2.3	△138	—	△138	—	△129	—
29年2月期第2四半期	3,101	8.0	△203	—	△211	—	△195	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	△50.34	—
29年2月期第2四半期	△76.21	—

(注) 平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	12,560	10,136	80.7
29年2月期	12,959	10,281	79.3

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期10,136百万円 29年2月期10,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年2月期	—	0.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 期末の配当につきましては、今後、業績の動向を勘案して決定してまいります。

3. 平成30年2月期の業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	7.2	130	—	120	—	100	—	38.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 ※平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い平成30年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期2Q	2,572,871株	29年2月期	2,572,871株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	4,147株	29年2月期	4,063株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期2Q	2,568,770株	29年2月期2Q	2,568,822株

※ 平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の業績予想について）

当社は、平成29年5月25日開催の第61回定時株主総会において、株式併合につき承認可決を受け、平成29年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い平成30年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮して修正しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用、所得環境の改善に加え、設備投資についても堅調に増加し、緩やかな景気回復が続いております。しかしながら、海外の政治情勢や経済の不確実性が懸念され、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

こうした状況のもとで、当社は、会社構造改革を更に推進させ、売上目標の達成に努め、黒字化を目指してまいりました。

まず、引き続き成果にこだわるセールスの徹底により、新規顧客の掘り起こしや既存顧客の囲い込みを確実に実行し、宴会売上の確保に努めてまいりました。

また、各店舗において、グルメサイトへの訴求の強化、SNS等の活用を行い、宴会及びダイニングでの客数増加に努めました。

さらに、顧客名簿と予約受注の一元管理システムの導入を行い、作業の効率化を図り、お客様のニーズに迅速に対応すると共に、顧客満足度の向上へとつなげるべく取り組んでまいりました。

次に、婚礼ブランド「LUCIS (ルーキス)」「Coeur et Coeur (クーレクール)」「LA VIE CLAIR (ラヴィクレール)」においては、前期に引き続き各種媒体への積極的販促を行い、新規来館客の増加、成約率のアップを図り、売上増加に努めてまいりました。

「上野店」においては、ネットを主としたブライダル関連の広告掲載強化ならびに、プランナーの増員を行い、新規来館数及び成約数の底上げのための施策を強化してまいりました。

平成29年8月、恵比寿ガーデンプレイスタワー39階フロア全体のリニューアルが完了し、「LUCIS GARDEN 恵比寿」を新規出店いたしました。これまでとは違った小型のレストラン店舗として出店し、新たなビジネスモデルとして、幅広い客層のお客様にご利用いただける店舗となり、来店されたお客様にご好評をいただいております。

以上の結果、当第2四半期の売上高は、前年同四半期比2.3%増の31億7,278万円、営業損失は1億3,892万円(前年同四半期は営業損失2億395万円)、経常損失は1億3,871万円(前年同四半期は経常損失2億1,181万円)、四半期純損失は1億2,932万円(前年同四半期は四半期純損失1億9,576万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ3億9,993万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失の計上並びに、賃貸用不動産の取得、借入金の返済等により現金及び預金が13億6,506万円減少したことなどにより流動資産が14億1,200万円の減少、固定資産は有形固定資産が「賃貸用不動産」の取得等により10億3,252万円増加、投資有価証券の売却及び時価評価により3,000万円減少したことなどにより10億1,207万円増加いたしました。

負債は、前事業年度末に比べ2億5,438万円減少いたしました。

これは主に、出店・改装に伴う未払金が1億6,119万円の増加、借入金が返済により2億2,132万円減少したこと並びに、法人税の支払に伴う未払法人税等が1億7,190万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億4,555万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失1億2,932万円を計上したことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は5億4,308万円となり、前事業年度末と比較して13億6,506万円の減少となりました。

これは税引前四半期純損失1億2,835万円の計上、有形固定資産取得並びに借入金の返済による支出及び、減価償却費の計上等によるものであります。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果使用した資金は5,800万円となりました(前年同四半期は1億1,735万円の支出)。

これは主に税引前四半期純損失の計上並びに法人税等の支払いによる支出及び、減価償却費の計上等によるものであります。

投資活動により使用した資金は10億8,556万円となりました(前年同四半期は2億7,024万円の収入)。

これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動により使用した資金は2億2,149万円となりました(前年同四半期は2億1,149万円の支出)。

これは主に借入金の返済によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,908,148	543,084
売掛金	338,095	297,597
商品及び製品	7,256	7,824
原材料及び貯蔵品	72,512	74,277
その他	76,943	68,165
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	2,402,655	990,649
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,115,785	4,336,601
土地	2,977,925	3,820,851
その他(純額)	655,810	624,596
有形固定資産合計	7,749,521	8,782,050
無形固定資産		
	24,299	19,929
投資その他の資産		
投資有価証券	147,408	117,402
差入保証金	1,428,314	1,432,620
長期未収入金	987,873	987,873
その他	220,471	230,084
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	2,783,468	2,767,380
固定資産合計	10,557,289	11,569,360
資産合計	12,959,945	12,560,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,450	112,467
短期借入金	656,125	545,700
未払法人税等	205,000	33,100
賞与引当金	67,000	68,000
その他	403,464	506,583
流動負債合計	1,473,039	1,265,850
固定負債		
長期借入金	110,900	-
長期未払金	140,194	140,194
繰延税金負債	220,568	210,252
再評価に係る繰延税金負債	129,796	129,796
退職給付引当金	603,586	617,796
その他	-	59,810
固定負債合計	1,205,046	1,157,849
負債合計	2,678,085	2,423,700

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成29年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	2,530,369	2,401,047
自己株式	△9,303	△9,475
株主資本合計	11,654,846	11,525,351
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45,515	29,460
土地再評価差額金	△1,418,503	△1,418,503
評価・換算差額等合計	△1,372,987	△1,389,043
純資産合計	10,281,859	10,136,308
負債純資産合計	12,959,945	12,560,009

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	3,101,344	3,172,789
売上原価	1,423,347	1,423,466
売上総利益	1,677,997	1,749,322
販売費及び一般管理費	1,881,953	1,888,252
営業損失(△)	△203,956	△138,929
営業外収益		
受取利息	256	3
受取配当金	2,472	2,527
未回収商品券受入益	725	770
保険配当金	1,708	1,821
その他	1,485	1,168
営業外収益合計	6,649	6,291
営業外費用		
支払利息	8,608	4,397
設備休止費用	5,121	-
その他	776	1,679
営業外費用合計	14,506	6,076
経常損失(△)	△211,813	△138,714
特別利益		
投資有価証券売却益	-	12,972
特別利益合計	-	12,972
特別損失		
固定資産除却損	407	2,612
店舗閉鎖損失	6,805	-
特別損失合計	7,212	2,612
税引前四半期純損失(△)	△219,025	△128,354
法人税、住民税及び事業税	8,942	4,203
法人税等調整額	△32,205	△3,236
法人税等合計	△23,263	967
四半期純損失(△)	△195,762	△129,321

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△219,025	△128,354
減価償却費	209,567	205,790
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,700	1,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,101	14,209
受取利息及び受取配当金	△2,728	△2,531
支払利息	8,608	4,397
固定資産除却損	50	481
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△12,972
売上債権の増減額(△は増加)	△35,894	40,498
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,357	△2,333
仕入債務の増減額(△は減少)	7,364	△28,982
未払金の増減額(△は減少)	△45,140	17,047
預り保証金の増減額(△は減少)	-	61,568
その他	△80,053	△68,085
小計	△162,010	101,733
利息及び配当金の受取額	2,728	4,039
利息の支払額	△8,735	△4,799
法人税等の還付額	52,101	-
法人税等の支払額	△1,442	△158,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	△117,357	△58,006
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	△301,482
有価証券の償還による収入	500,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△208,432	△1,089,831
投資有価証券の売却による収入	-	19,843
差入保証金の差入による支出	△14,649	△14,022
差入保証金の回収による収入	10,140	9,716
その他	△16,816	△9,784
投資活動によるキャッシュ・フロー	270,242	△1,085,560
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△339	-
長期借入金の返済による支出	△211,150	△221,325
自己株式の取得による支出	△7	△172
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,496	△221,497
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△58,612	△1,365,064
現金及び現金同等物の期首残高	733,073	1,908,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	674,461	543,084

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、料理・飲食物の加工調理提供を主要業務とする飲食店のほか付随的に外販・不動産賃貸等を営んでおりますが、飲食店としての事業がほとんどを占めており実質的に単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。